

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 30 日	点検日	平成 年 月 日	
事務事業名	水道料金賦課徴収事務			区分コード	11				
担当課G等	上下水道部	水道課	総務G	記入者氏名	川上 義和				
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	2 安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業				
	施策名	9 水道水を安定的に供給する							
	基本事業名	1 水道水の安定供給							
予算科目	会計	水道	款 1 項 1 目 4	総務費	事業名	法令根拠	水道法		
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度				
		(開始年度 S49 年度 ~)		(年度 ~ 年度)					
事業概要									
[全体概要] 水道の開閉栓や水道使用量の検針の他、水道料金に関する業務全般。				[業務内容] 水道料金に関する賦課及び徴収業務 開栓業務、閉栓及び清算業務、使用量検針業務、 納付書発行業務、口座振替業務 収納管理業務(消込・還付・充当)、 未収金回収業務(給水停止含)他					
1 現状把握の部(DOシート)									
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移									
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)		
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)							
水道利用世帯		水道利用世帯数	世帯	19,557	19,929	20,200	20,400	20,900	
		水道普及率	%	98.3	98.3	98.3	98.4	98.6	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
24年度実績 水道開閉栓、2ヶ月毎に使用水量検針を行い水道料金の賦課徴収を行う。納期限内に納付が無い者には、未収金回収を行い納付指導、給水停止を行う。		使用水量により算出された水道料金	千円	956,716	1,039,604	1,050,000	1,060,000	1,070,000	
25年度計画 平成24年度と同様		開閉栓件数	件	2,584	2,718	2,750	2,800	2,850	
		未収金回収訪問件数	件	1,385	2,145	2,100	2,050	2,000	
		給水停止件数	件	95	148	145	140	135	
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		成果指標(対象における意図された対象の程度)							
水道料金の期間内納付の促進を行うことにより、安定した収入を得、安全な水の安定供給を行う。		水道料金収納率	%	95.6	95.7	95.7	95.7	95.7	
(2) 投入量の推移									
事業内 財源内 費	国庫支出金	千円							
	県支金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	一般財源	千円	30,962	28,955	46,665	47,000	47,500		
事業費計(A)		千円	30,962	28,955	46,665	47,000	47,500	0	
人件費	正規職員	千円	13,173	2,33人	12,533	2,33人	12,533	2,33人	人
	正規外職員	千円	6,880	4人	7,822	5人	7,822	5人	人
	人件費計(B)	千円	20,053	20,355	20,355	20,355	20,355	0	
投入量(A)+(B)		千円	51,015	49,310	67,020	67,355	67,855	0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
この事務事業を開始したきっかけは何か?		水道事業を開始したことに伴い、水道料金を徴収することとなった。							
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		現在の社会情勢の影響により、水道料金の納期限内に納付できない者が増加している。							
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		隣接市町村に比べ水道料金が高いとの意見がある。また、納付場所を拡大して欲しいとの要望が寄せられている。							

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 当事務事業の全てについて、包括委託として民間委託を計画していたが、再検証すべきとの意見もあることから、まずは、個人委託である検針業務の見直しを図っていくこととした。	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなぜですか？	妥当である 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 水道事業は、水道法により市町村による経営が原則となっている。また、水道料金により事業を運営しているため、基本的に税金の投入は無い。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があった理由は何ですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	余地がない 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 水道料金の一部納付者の給水停止については、見送っている状況にあるが、条例を遵守し、一部納付がある者に対しても停水処分を行うとすれば、未納者が減ると考えられる。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	統廃合の余地がない 廃止・休止の可能性がない 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく、統廃合はできない。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	事業費の削減余地がない 人件費の削減余地がない 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 料金計算や納付書の印刷等すべてがシステム化されているため、事業費の削減は難しい。人件費については、水道料金未納者の増加を抑えるため、早期に納付指導をしている。また、納付指導に応じない、約束を反故にする者については、厳しく給水停止を行っているため、削減の余地はない。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	適正である 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 水道事業の運営に関わる主な財源は、水道使用量に基づいた水道料金であり、受益者負担については適切である。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善)																							
<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																								
<input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)																								
改革・改善の具体的な内容 (改革案・実行計画) 給水停止前に送付する催告書記載の水道料金が完納しない者について、給水停止を行う。																								
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性 (改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善)																							
<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																								
<input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)																								
担当部長としての意見・考え方 (1次評価と同じの場合も記入) 賦課徴収業務の包括民間委託や停水処理手続き等について、費用対効果やリスク等を再検証し、水道事業全体の中で本事務事業の在り方を決定していくべきである。																								
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 24 日	点検日	平成 年 月 日
事務事業名	浄水関連施設管理事業			区分コード	4			
担当課G等	上下水道部	水道課	工務・管理G	記入者氏名	今瀬 博之			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	2 安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業			
	施策名	9 安定的に水道水を供給する						
	基本事業名	1 水道水の安定供給						
予算科目	会計	水道	款 1 項 1 目 1	事業名	法令根拠	原水及び浄水費		
事業期間	単年度のみ		単年度繰返 (開始年度 S49 年度 ~)		期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)			
事業概要								
[全体概要] 浄配水施設において安全な水をつくり、安定した水の供給ができるよう施設の維持管理を行う。				[業務内容] 施設の清掃・点検・修繕等				
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)						
浄配水施設		関連施設の数	箇所	10	10	10	10	10
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
24年度実績 施設の清掃・点検・修繕等の管理業務を行った。		定期点検業務件数	件	17	24	25	25	25
25年度計画 平成24年度と同様		修繕業務件数	件	26	29	30	30	30
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		成果指標(対象における意図された対象の程度)						
施設が正常に稼働するように管理を行い、安全な水を安定して供給することにより、快適な生活をしてもらう。		断水(浄水施設要因)を要するトラブル件数	件	0	0	0	0	0
		水道普及率	%	98.3	98.3	98.3	98.4	98.6
(2) 投入量の推移								
事業内 財源内 財源	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	95,653	102,426	128,000	128,000	128,000	
事業費計(A)		千円	95,653	102,426	128,000	128,000	128,000	0
人件費	正規職員	千円	16,000 3人	15,100 3人	15,100 3人	15,100 3人	15,100 3人	
	正規外職員	千円	12,960 6人	12,960 6人	10,800 5人	10,800 5人	10,800 5人	
	人件費計(B)	千円	28,960	28,060	25,900	25,900	25,900	0
投入量(A)+(B)		千円	124,613	130,486	153,900	153,900	153,900	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?		取水場、浄配水場等の施設が建設され稼働するに伴い、安定供給のため施設管理の事業が開始された。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		水質検査項目(放射能等)が増えている。また、全体的に施設の老朽化が進んでいる。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		原発事故の影響もあり、安心安全な水道水の供給が求められている						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなぜですか？	妥当である 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 水道法により、水道事業は市町村による経営が原則なため、本市でも水道料金により事業を運営しているの で税金は投入されていない。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなぜですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	余地がない 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設の修繕や更新事業を計画的、効果的に行うことにより、今まで以上に安定した供給が可能となる。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？ 事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	統廃合の余地がない 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 廃止・休止の可能性がない 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がない。 浄水施設管理事業は、安定した水道水の供給のためには必要不可欠な事業であり廃止はできない。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？ 成果を下げずに所要時間を削減できませんか？ 成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	事業費の削減余地がない 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 人件費の削減余地がない 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設の老朽化に伴う修繕費の増大や、更新事業の推進等により、事業費削減の余地はない。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	適正である 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 水道事業は、水道料金収入により運営されており、水道使用料に基づいた負担となっていることから適切である。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的な内容 (改革案・実行計画) 計画的な作業の実施と早急な浄水場更新事業の着手																								
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性 (改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方 (1次評価と同じの場合も記入) 木崎・瓜連浄水場の老朽化に伴う諸問題の対応に苦慮している状況にあるが、施設の更新には長い期間を要することから、今後も危機意識を持った維持管理業務が求められる。また、維持管理業務費が増加傾向にあることから、計画的かつ効率的な更新事業、修繕事業を進め、ランニングコストの削減に努める必要がある。																								
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 31 日	点検日	平成 年 月 日			
事務事業名	配水管網整備事業			区分コード	6						
担当課G等	上下水道部	水道課	工務・管理G	記入者氏名	小野瀬 義宏						
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	2 安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業						
	施策名	9 安定的に水道水を供給する									
	基本事業名	1 水道水の安定供給									
予算科目	会計	水道	款 1 項 1 目 1	事業名 配水施設費	法令根拠						
事業期間	単年度のみ			単年度繰返 (開始年度 S49 年度 ~)	期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)						
事業概要											
[全体概要] 水道水の安定供給を図るため配水管の整備を行う。				[業務内容] 老朽化した配水管の布設替え。効率的に水を供給するために新たな配水管網を整備する。							
1 現状把握の部 (DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移											
		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (計画)	27年度 (計画)				
対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標 (対象の大きさを表す指標)									
配水管		配水管総延長	m	458,089	460,404	463,514	466,514	469,514			
		石綿管残延長	m	13,326	13,143	11,643	10,143	8,643			
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順)		活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)									
24年度実績 新設管の布設及び老朽管の布設替えを行った。		新設管布設延長	m	1,489	2,498	3,110	3,000	3,000			
25年度計画 平成24年度と同様											
意図する成果 (この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		成果指標 (対象における意図された対象の程度)									
配水管網を整備し、安全な水を安定供給することにより快適な生活が送れるようになる。		配水管網整備計画の進捗率 (新設管)	%	42	47	50.8	54.1	56.9			
		配水管網整備計画の進捗率 (石綿管)	%	82.2	82.5	84.5	86.5	88.5			
		水道普及率	%	98.3	98.3	98.3	98.4	98.6			
		公道上の漏水事故件数	件	14	17	0	0	0			
(2) 投入量の推移											
事業内 財源 費	国庫支出金	千円									
	県支支出金	千円									
	地方債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	231,400	81,187	155,800	155,800	155,800				
事業費計 (A)		千円	231,400	81,187	155,800	155,800	155,800	0			
人件費	正規職員	千円	9,198	1,46	2,630	0,51	6,630	1,31	6,630	1,31	
	正規外職員	千円									
	人件費計 (B)	千円	9,198	2,630	6,630	6,630	6,630	6,630			
投入量 (A)+(B)		千円	240,598	83,817	162,430	162,430	162,430				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
この事務事業を開始したきっかけは何か？		事業当初に整備された配水管の維持管理上の問題や効率的な給水に対応するための配管網整備が必要となったため。									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか？		これまで漏水防止や耐震化対策として、石綿管の更新事業を進めてきた。配水管の整備を行っているため、老朽管からの漏水や管の汚れによる苦情は減少している。									
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？		石綿管の安全性、残延長、整備時期、整備期間等について問い合わせがある。									

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 水道事業は、水道法により市町村による経営が基本となっている。当市では、水道料金により事業を運営しているため、税金は投入されていない。
有効性評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があったとした理由はなんですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 配水管網整備計画に基づいた効率的な整備、下水道工事や道路改良工事に併せた整備を行っているため、これ以上の向上は見込めない。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事務事業はない。 安定した水道水の供給のためにも、老朽管の更新や新設管網の整備は必要である。
効率性評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 設計や材料について随時見直しを行っている。 工法についても下水道工事や道路改良工事と同時に施工することで工事費の削減を行っている。 最低限の人数で行っているため、これ以上の削減はできない。
公平性評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 水道事業は、基本的に水道料収入により運営されており、使用水量に基づいた負担となっているため適正と判断できる。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																												
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的な内容 (改革案・実行計画)			改革・改善による期待成果																									
			<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性 (改革・改善策)) 担当部長が記載																												
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善)	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方 (1次評価と同じの場合も記入) 他機関や他事業との調整を行いながら、効率的、効果的な管網整備を進める必要がある。																												
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																												
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																												

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 31 日	点検日	平成				
事務事業名	公共下水道整備事業			区分コード	6							
担当課G等	上下水道部	下水道課	工務・管理G	記入者氏名	小泉 健							
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	2 安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業							
	施策名	10 適正に生活排水を処理する										
	基本事業名	1 生活排水処理施設の整備										
予算科目	会計	下水道特別会計	款	2	項	1	目	1	事業名	公共下水道整備事業	法令根拠	下水道・都市計画法
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度			(開始年度	年度 ~)	(S57 年度 ~ H33 年度)		
事業概要 [全体概要] : [業務内容] 河川・水路等の公共用水域の水質改善と生活環境(衛生面)の向上のため下水道の整備を行う。 : 下水道の管路整備を行う。												
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)					
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			対象指標(対象の大きさを表す指標)									
下水道区域内の市民			下水道供用開始人口	人	26,157	26,748	28,250	29,750	31,250			
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)			活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
24年度実績			整備面積(累計)	ha	1,110	1,181	1,330	1,480	1,630			
管路整備延長 L=2229m			整備延長(累計)	m	200,604	202,815	208,373	213,373	218,373			
マンホールポンプ設置 N=1箇所												
25年度計画												
管路整備延長 L=11558m												
マンホールポンプ設置 N=4箇所												
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			成果指標(対象における意図された対象の程度)									
下水道区域内の生活汚水や営業汚水を、直接下水道に流す事が出来るようにする。			普及率(供用開始人口/行政人口)	%	46.9	47.8	50.5	53.4	56.3			
(2) 投入量の推移												
事業内 財源 費	国庫支出金	千円	103,000	90,000	480,000	250,000	250,000	全体計画				
	県支出金	千円	900	1,700	3,000	3,000	3,000					
	地方債	千円	194,100	240,000	919,700	486,000	486,000					
	その他	千円										
	一般財源	千円	16,832	56,284	112,403	61,000	61,000					
事業費計(A)		千円	314,832	387,984	1,515,103	800,000	800,000	0				
人件費	正規職員	千円	13,100	3人	13,100	3人	13,200	3人	13,200	3人	人	
	正規外職員	千円		人		人		人		人		
	人件費計(B)	千円	13,100	13,100	13,200	13,200	13,200	0				
投入量(A)+(B)		千円	327,932	401,084	1,528,303	813,200	813,200	0				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
この事務事業を開始したきっかけは何か?		生活排水処理の改善、水洗便所への改造、水環境の保全を図るため。										
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		生活排水処理の改善、生活環境の向上等に関心が強まり、また公共水域の水質保全に対する意識も高まってきた。 【平成24年度末】公共下水道水洗化率：94.7%										
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		議会、下水道処理対象地区から下水道の早期整備を強く要望されており、請願・陳情が提出されている。また、那珂市公共下水道事業審議会より下水道早期整備促進の答申を受けている。										

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなぜですか？	妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 下水道は、健全で文化的な生活を営むための基盤となる施設であり、また、公共用水域の水質保全のための不可欠な施設であるため、下水道法により市町村が整備を行うものとなっている。
有効性評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなぜですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 市の限られた財源の中では、整備量(事業量)を著しく増やすことは難しい。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業に農業集落排水整備事業があるが、生活排水ベストプランにより整備計画が位置づけされており統廃合はできない。下水道の普及が遅れ、水環境の悪化等も懸念されるため休廃止はできない。
効率性評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業計画に遅れが生じ、整備率の向上が困難になる。 住民の要望が多く、事業量も増加していく中で工事、設計、監督する職員の数は削減できない。
公平性評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 下水道受益者からは、事業費の一部を受益者負担金として徴収しており、公平、公正と考えている

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 住民の要望に対応して事業は継続していくが、工事費等のコスト縮減やスピードアップ策を図る。																								
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入) 今後も工法や発注方法の見直しを図るとともに、他事業との調整等により、コスト縮減に努めなければならない。																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 平成25年度から、ランニングコスト及びトータルコスト等を含めた、種々の検証を行う。 公共下水道事業を進めていく上で、必要な中期計画等の策定のための準備を進める。																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 27 日	点検日	平成
事務事業名	浄化槽設置補助事業			区分コード	1			
担当課G等	上下水道部	下水道課	工務・管理G	記入者氏名	萩野谷貴之			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	2 安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業			
	施策名	10 適正に生活排水を処理する						
	基本事業名	1 生活排水処理施設の整備						
予算科目	会計	一般	款 4 項 1 目 5	事業名	法令根拠	浄化槽法		
事業期間	単年度のみ		単年度繰返	期間限定複数年度		(開始年度 5 年度 ~) (年度 ~ 年度)		
事業概要 [全体概要] 浄化槽を設置することで、環境保全及び水質汚濁の防止を目的とする。設置費の一部を補助。 [業務内容] 浄化槽を設置する市民に対し、補助金を交付することで、経済的負担を軽減し、普及促進を図る。								
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)						
浄化槽を設置予定の人		設置予定基数	基	133	133	133	133	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
24年度実績 補助申請に基づき、審査・検査・支払等事務		設置基数	基	105	99	133	133	
		補助金額	千円	34,206	32,397	43,239	43,239	
25年度計画 補助申請に基づき、審査・検査・支払等事務								
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		成果指標(対象における意図された対象の程度)						
補助事業により浄化槽設置を促進することで、生活排水の浄化を図り、公共用水域の汚染を防止する。		補助率	%	70.0	76.1	100.0	100.0	
		生活排水普及率	%	72.8	75.9	76.0	76.1	
(2) 投入量の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
事業内 財源 費	国庫支出金	千円	11,102	13,813	13,813	13,813	13,813	
	県支出金	千円	12,002	11,579	11,579	11,579	11,579	
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	11,153	7,005	7,005	7,005	7,005	
事業費計(A)		千円	34,257	32,397	32,397	32,397	32,397	
人件費	正規職員	千円	7,000	7,000	8,100	8,100	8,100	
	正規外職員	千円						
	人件費計(B)	千円	7,000	7,000	8,100	8,100	8,100	
投入量(A)+(B)		千円	41,257	39,397	40,497	40,497	40,497	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?		下水道の整備には多額の費用と年月が必要であるため、事業が完了するまでの間、生活排水の対策として合併処理浄化槽が必要なため。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		合併処理浄化槽の補助制度が浸透してきている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		合併処理浄化槽は下水道が整備されるまでの暫定施設であり早期の下水道整備が望まれている。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 広報紙にてPRを行うとともに、浄化槽業者に向けたPR方法を検討した。	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなぜですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 行政の役割として最低限の生活環境衛生を維持するために妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなぜですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない 広報活動による事業のより一層の周知。 <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック)
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 水洗化の促進及び機能低下した浄化槽の更新が進まなくなる可能性があるため、廃止・休止はできない。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は補助金であり合併処理浄化槽の普及の低下につながる可能性があるため事業費の削減余地はない。 職員数が削減されている中、事務量、業務内容を考えると現在の職員数を削減するのは不可能であり、人件費の削減余地はない。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 下水道に代わる浄化施設として、一般財源(税金)で設置費の一部を補助することは公平性において適正である。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 広報等への掲載頻度を上げ、設置費用補助制度の周知徹底を図る。																								
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入) 合併処理浄化槽補助のさらなる周知徹底を図り、設置基数の増加に努めるべきと考える。また、公共下水道事業審議会において、浄化槽市町村整備推進事業の導入の是非について検討できるよう、調査、研究を進めなければならない。																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 23 日	点検日	平成 年 月 日
事務事業名	公共下水道受益者負担金賦課徴収事業			区分コード	11			
担当部課G等	上下水道部	下水道課	業務G	記入者氏名	大内 秀幸			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	1:安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業			
	施策名	10:適正に生活排水を処理する						
	基本事業名	3:普及啓発の推進						
予算科目	会計	下水道	款 1 項 1 目 1	事業名 一般管理事務費	法令根拠	都市計画法、下水道法		
事業期間	単年度のみ (開始年度 昭和63 年度 ~)			期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)				
事業概要								
[全体概要] 公共下水道整備地区の受益者を対象に賦課する受益者負担金賦課徴収事務				[業務内容] 賦課内容確定、納付書等の送付および徴収事務				
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (計画)	27年度 (計画)	
対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 公共下水道処理区域内の受益者(賦課者)、受益者負担金賦課者		対象指標(対象の大きさを表す指標)						
		賦課人数	人	328	509	665	491	566
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順) 24年度実績 受益に供する土地および対象者を調査し、受益者および負担金額を賦課し、納付書を送付する。納期内に納付がない場合は督促・催告書・訪問等により納付を促す。 25年度計画 同上		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
		受益者負担金賦課金額	千円	66,523	123,876	152,776	85,694	100,924
		受益者負担金徴収金額	千円	46,594	106,400	134,961	58,665	85,167
意図する成果 (この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 公共下水道事業受益者負担金の納付。 公共下水道の整備により、水環境及び生活衛生環境の保全を推進し、安全で快適な住みやすい環境を築く。		成果指標(対象における意図された対象の程度)						
		受益者負担金徴収率	%	70.0	85.9	88.3	68.5	84.4
		水洗化率	%	95.0	95.2	95.3	95.4	95.5
		生活排水普及率	%	73.0	73.2	73.6	74.0	74.2
(2) 投入量の推移								
事業内 財源 費	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	13,420	12,850	13,939	13,939	13,939	
事業費計(A)		千円	13,420	12,850	13,939	13,939	13,939	0
人件費	正規職員	千円	2,100	2,550	2,550	2,550	2,550	
	正規外職員	千円	596	596	741	741	741	
	人件費計(B)	千円	2,696	3,146	3,291	3,291	3,291	0
投入量(A)+(B)		千円	16,116	15,996	17,230	17,230	17,230	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?		公共下水道整備事業による下水道整備に伴う整備費の一部に充当するため。 (都市計画法に基づく受益者負担金)						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		累計の賦課区域の増加や社会情勢の変化により、滞納額が増加している。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		議会等の関係者から事業費の確保および受益者負担の公平性のために、滞納額の削減に努めるよう要望されている。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) (取り組み内容) 終了 前年度に引き続き定期的に滞納者に対し訪問徴収し、滞納額の減少に努めた。 廃止 見直し(改革・改善) また、今までは緊急雇用により非正規職員に徴収事務を行ってもらったが、今後は嘱託員等により専属で対応できる人材を置くことにより、納付管理を行い、滞納額を減少させるようにする。 休止 見直し 現状維持	(予算への反映) 削減 (事業費 千円) (人件費 千円) 増加 (事業費 千円) (人件費 千円) 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなぜですか？	妥当である 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 下水道法や市条例で定められた制度で、市が行うべき事業である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなぜですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	余地がない 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 賦課後、未接続の受益者については、生活環境の改善の必要性を説明し、意識改革を図っていく。また、滞納者については督促状・催告書・訪問等により納付を促す。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	統廃合の余地がない 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 廃止・休止の可能性がない 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業として農業集落排水事業があり、平成20年度に同じ課室へ統合されたため、余地がないと考えられる。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	事業費の削減余地がない 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 人件費の削減余地がない 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 負担金徴収、滞納額の削減のため、今後も継続して賦課徴収を行うこととなるので削減余地がない。また、徴収事務については嘱託員等により専属で対応できる人材が必要と考える。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	適正である 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 都市計画法、下水道法、市条例に基づく受益者負担金であり、適正と判断する。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
終了 廃止 休止 継続 → 見直し(改革・改善) → (目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善) 公平性の改善 統廃合 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 徴収事務については嘱託員等により専属で対応できる人材が必要と考える。 また悪質滞納者について、滞納処分のための財産調査費用等の確保が必要と考えられる。																							
	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																								
終了 廃止 休止 継続 → 見直し(改革・改善) → (目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善) 公平性の改善 統廃合 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入) 徴収事務体制を確立し滞納額の減少に努めるべきと考える。																							
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
廃止 休止 継続 (見直し 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 23 日	点検日	平成 年 月 日							
事務事業名	農業集落排水受益者分担金・使用料賦課徴収事業			区分コード	11										
担当課G等	上下水道部	下水道課	業務G	記入者氏名	大内 秀幸										
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	21安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業										
	施策名	101適正に生活排水を処理する													
	基本事業名	31普及啓発の推進													
予算科目	会計	農業集落排水整備	款	1	項	1	目	1	事業名	一般管理事務	法令根拠	那珂市農業集落排水整備事業分担金に関する条例・那珂市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例			
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度			(開始年度 H5 年度 ~)	(年度 ~ 年度)						
事業概要 [全体概要] 農業集落排水整備事業の施設整備にともなう受益者分担金及び施設管理にともなう維持管理費の使用料賦課徴収事務。 [業務内容] 分担金・使用料の賦課及び徴収。															
1 現状把握の部 (DOシート)															
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移															
										単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 農業集落排水整備事業処理区域内の受益者(賦課者)、受益者分担金賦課者				対象指標(対象の大きさを表す指標)											
賦課人数				人	106	286	244	228	182						
手段(具体的な事務事業のやり方、手順) 24年度実績 受益者分担金については、6月に納入通知書を発送して、納期内に納付がない時は督促、催告書を通じた後、随時訪問を行い徴収。井戸水使用分については、分担金と同様に処理。水道水使用については、水道課職員と合同徴収で対応。 25年度計画 同上										活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
分担金賦課額				千円	16,615	73,644	52,501	23,630	23,157						
使用料賦課額				千円	57,771	60,724	61,586	66,306	67,632						
分担金徴収額				千円	10,741	67,690	32,866	14,887	14,589						
使用料徴収額				千円	55,576	58,157	59,051	64,316	65,602						
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 分担金及び使用料を適正に賦課して納付してもらう。 生活排水の浄化を図り、公共用排水域の汚濁を防止する。				成果指標(対象における意図された対象の程度)											
分担金徴収率				%	64.6	91.9	62.6	63.0	63.0						
使用料徴収率				%	96.2	95.8	95.9	97.0	97.0						
(2) 投入量の推移															
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	全体計画							
事業内 財源 内訳	国庫支出金	千円													
	県支金	千円													
	地方債	千円													
	その他	千円													
	一般財源	千円	2,795	2,578	1,912	1,912	1,912								
事業費計(A)		千円	2,795	2,578	1,912	1,912	1,912					0			
人件費	正規職員	千円	4,863	0.5人	2,550	0.5人	2,550	0.5人	2,550	0.5人	2,550	0.5人			
	正規外職員	千円	1,470	1.0人	1,470	1.0人	1,470	1.0人	1,470	1.0人	1,470	1.0人			
	人件費計(B)	千円	6,333	4,020	4,020	4,020	4,020	4,020				0			
投入量(A)+(B)		千円	9,128	6,598	5,932	5,932	5,932	5,932				0			
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等															
この事務事業を開始したきっかけは何か?			農業集落排水整備に充てるための受益者負担金。使用料については、処理場等の維持管理費に充てるため。												
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?			現在の経済状況により、受益者によっては納付困難となっている方が増えてきている。納付困難者については、分割納付など納付相談をおこなっていく。												
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?			議会等から事業費の確保及び受益者の公平性のために、滞納額の削減に努めるよう意見がある。												

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(取り組み内容) 平成23年度から使用料の賦課徴収委託をしたことにより、需用費、役務費の削減につながった。水道課のシステムに使用料を組入れたことにより、水道料金と合わせて徴収が可能となった。
		(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成23年度から使用料の賦課徴収について、水道料金と合わせて水道課に委託している。
有効性評価 成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があった理由は何ですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 平成23年度から使用料の賦課徴収について、水道課に委託しているが、滞納整理予定日を決めて共同で徴収事務をすることで、徴収側の意識の向上及び収納率アップにつながる。
有効性評価 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業として公共下水道事業があるが、平成20年に統廃合したため、統廃合の余地がない。また、農業集落排水整備を普及・推進するしている中で、整備事業費及び維持管理費に支障をきたすため、廃止又は休止することができない。
効率性評価 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 分担金の独自システムと公共下水道負担金システムとの統合を協議の結果、H25より導入する予定である。また、水道使用者については、水道課のシステムに組入れ、使用料を合わせて徴収できるようになった。人件費については、削減の余地がない。
公平性評価 受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 条例に基づくものなので、適正と判断する。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 独自システムと公共下水道負担金システムとの統合を協議の結果、H25より導入する予定である。 また、水道使用者については、水道課のシステムに組入れ、使用料を合わせて徴収できるようになった。 今後は徴収強化により徴収率アップを目指す。	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入) 水道課と連携して滞納整理を実施することにより収納率の向上に努める。																								
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																									

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 23 日	点検日	平成 年 月 日							
事務事業名	一括納付報奨金交付事業			区分コード	2										
担当課G等	上下水道部	下水道課	業務G	記入者氏名	大内 秀幸										
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	2:安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業										
	施策名	10:適正に生活排水を処理する													
	基本事業名	3:普及啓発の推進													
予算科目	会計	下水道/農業集落排水整備	款	1	項	1	目	1	事業名	一般管理事務	法令根拠	那珂市公共下水道事業受益者負担金に関する条例 那珂市農業集落排水整備事業分担金に関する条例			
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度			(開始年度 63 年度 ~)	(年度 ~ 年度)						
事業概要 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>[全体概要] 公共下水道事業受益者負担金及び農業集落排水事業分担金の早期納付促進、並びに一括納付による滞納防止を図り事業費の財源を確保するため、報奨金を交付している。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>[業務内容] 受益者負担金(分担金)を一括で納付した受益者に対し、負担金額や前納回数に応じた報奨金を交付している。</p> </div> </div>															
1 現状把握の部(DOシート)															
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移															
										単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (計画)	27年度 (計画)
対象 (誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 公共下水道事業受益者負担金及び農業集落排水事業分担金の新規賦課対象者										対象指標 (対象の大きさを表す指標)					
賦課金の対象者数										人	231	587	726	541	570
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順) 24年度実績 受益者負担金等を第1期(6月末納期)に一括で納付した者に、金額や前納回数に応じた報奨金を交付した。 25年度計画 受益者負担金等を第1期(6月末納期)に一括で納付した者に、金額や前納回数に応じた報奨金を交付する。										活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)					
報奨金の交付件数										件	35	336	377	300	310
報奨金の交付金額										千円	380	10,443	11,238	7,442	9,906
意図する成果 (この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 一括納付報奨金を交付することで、早期の一括納付を促進し、事業費充当財源の確保及び後年度納付による未納の防止を図る。										成果指標 (対象における意図された対象の程度)					
一括納付率 = 一括納付者数 ÷ 対象者										%	15	57	52	55	54
(2) 投入量の推移															
事業内訳															
事業内訳	財源内訳	国庫支出金	千円												
		県支出金	千円												
		地方債	千円												
		その他	千円												
		一般財源	千円		380	10,443	14,282	11,713	11,830						
	事業費計(A)	千円		380	10,443	14,282	11,713	11,830						0	
人件費	正規職員	千円	550	0.1人	510	0.1人	510	0.1人	510	0.1人	510	0.1人			
	正規外職員	千円													
	人件費計(B)	千円	550		510		510		510		510			0	
投入量(A)+(B)		千円		930	10,953	14,792	12,223	12,340						0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等															
この事務事業を開始したきっかけは何か?		公共下水道事業及び農業集落排水整備事業の建設財源を早期に確保し、下水道等の普及促進を図る。													
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		一括納付報奨金制度は、事業に係る財源を早期に確保し普及促進を図ることを目的とし、一括して納付する受益者が多く、現状では報奨金の支出が増える傾向である。 (公共下水道事業においては、平成17年4月1日より、農業集落排水整備事業においては、平成22年4月1日より、交付率の見直しを行い、引き下げた)													
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		なし													

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 農業集落排水整備事業については、平成22年4月1日より交付税を引き下げている。(公共下水道事業は、以前に実施済)	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなぜですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 財源の早期確保、並びに滞納防止のための一つ的手段として有効と考える。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があった理由は何ですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者への説明会等で一括納付報奨金制度をPRし、早期納付を促進することにより向上させる余地はあると考えるが、現在の経済状況から一括納付が難しい受益者がいるのも事実である。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事務事業がない。 早期納付において一定の効果があると考えられるので休廃止はできない。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 交付率の引き下げについて検討の余地はあるが、平成22年度に引き下げを行っているため、今のところは現状維持と考える。 また、当事業が全体事業に占める割合が少ないことや、事務の時期も限定されるため、人件費削減の効果は小さいと考える。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 当事業は、公共下水道事業及び農業集落排水整備事業の早期財源確保と普及促進及び滞納防止を目的とし、市の規則で定めた交付率によるもので適正である。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 受益者負担金説明会等で一括納付報奨金の制度を説明し、一括納付を推進する。 一括報奨金の制度については市のホームページ等でPRを行う。																								
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入) 今後も現状の一括納付率が維持できるよう、PRに努めていく必要がある。																								
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 31 日	点検日	平成 年 月 日				
事務事業名	農業集落排水整備事業			区分コード	6							
担当課G等	上下水道部	下水道課	工務・管理G	記入者氏名	安齋 伸夫							
総合計画体系	施策の大綱(政策名)		2 安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業						
	施策名		10 適正に生活排水を処理する									
	基本事業名		1 生活排水処理施設の整備									
予算科目	会計	農業集落排水整備	款	2	項	1	目	1	事業名	農業集落排水整備事業	法令根拠	
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度			(開始年度 2 年度 ~)	(年度 ~ 年度)			
事業概要												
[全体概要]						[業務内容]						
農村区域における河川・水路等の公共用水域の水質改善と生活環境(衛生面)の向上のため農業集落排水の整備を行う。						汚水を処理する施設の整備を行う。						
1 現状把握の部(DOシート)												
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移												
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)					
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			対象指標(対象の大きさを表す指標)									
鴻巣地区の農業集落排水事業区域内の住民			鴻巣地区計画人口	人	2,700	2,700	2,700	2,700	2,700			
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)			活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
24年度実績			管路整備延長(累計)	m	5,391	9,245	15,645	19,645	22,494			
・鴻巣地区集落排水管路施設工事の実施			鴻巣地区供用開始人口	人	0	648	1000	2000	2700			
・鴻巣地区集落排水実施設計委託の実施												
25年度計画												
・鴻巣地区集落排水管路施設工事の実施												
・鴻巣地区集落排水実施設計委託の実施												
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			成果指標(対象における意図された対象の程度)									
生活雑排水が農業用排水路に浸入すること防止する。			区域内普及率	%	0	24	37	74	100			
(2) 投入量の推移												
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	全体計画				
事業内 財源内 地所 の 一 般 財 源	国庫支出金	千円	97,596	240,446	348,500	210,000	210,000	1,599,500				
	県支出金	千円										
	地方債	千円	137,596	163,100	519,200	250,900	225,554	2,116,711				
	その他	千円										
	一般財源	千円	1,337	59,698	4,919	4,500	4,500	40,391				
事業費計(A)		千円	236,529	463,244	872,619	465,400	440,054	3,756,602				
人件費	正規職員	千円	10,900	2人	10,900	2人	9,100	2人	9,100	2人	9,100	2人
	正規外職員	千円										
	人件費計(B)	千円	10,900	10,900	9,100	9,100	9,100	9,100				
投入量(A)+(B)		千円	247,429	474,144	881,719	474,500	449,154	3,765,702				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等												
この事務事業を開始したきっかけは何か?			公共水域(農業用水路、排水路、溜池等)の水質悪化及び生活環境の改善の要望が強かったこと。									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどうか変わったのか?			生活環境の向上等に関心が強まり、また公共用水域の水質保全に対する意識も高まってきた。									
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?			要望・請願等による、早期事業化、早期完成を望む声が多い。									

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業管理者が那珂市長になっているため妥当である。
有効性評価 成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由は何ですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費が増えれば向上する余地はあるが、国、県の補助事業費縮小により整備が進まない。
有効性評価 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業に公共下水道事業があるが、当該地域は茨城県生活排水ベストプランにおいて農業集落排水整備事業にて整備する位置づけをしており、統廃合はできない。
効率性評価 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 工法等の検討はその都度行い、最も経済的な工法を採用し、コスト削減を行っている。事業量も増加していく中で工事、設計、監督する職員数は削減できない。
公平性評価 受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 受益者負担を求める事業ではない 対象地区の一戸当たり40万円負担してもらっているため、公平・公正な割合と考えている。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的内容 (改革案・実行計画) 住民の要望に対応して事業は継続していくが、工事費等のコスト縮減やスピードアップ方策を図る。																								
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性 (改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方 (1次評価と同じ場合も記入) さらにコスト縮減に努め、整備のスピードアップを図る。																								
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 27 日	点検日	平成 年 月 日
事務事業名	下水道施設維持管理事業			区分コード	4			
担当課G等	上下水道部	下水道課	工務・管理G	記入者氏名	萩野谷貴之			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)	2!安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業			
	施策名	#!適正に生活排水を処理する						
	基本事業名	2!生活排水処理施設の維持管理						
予算科目	会計	一般	款 1 項 1 目 2	事業名	法令根拠	下法第3(管理)、下法第23(公共下水道台帳)		
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度			
		(開始年度 H1 年度 ~)		(年度 ~ 年度)				
事業概要								
[全体概要] 公共下水道施設(管路、マンホール及びマンホールポンプ等)の維持管理を行う。				[業務内容] 施設の老朽化、損傷状況を計画的に点検調査、修繕を行う。その基本図となる下水道台帳を整備、加除していく。				
1 現状把握の部(DOシート)								
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移								
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)						
下水道管路等		管路延長	m	200,483	202,712	214,270	220,070	225,870
		マンホールポンプ箇所数	箇所	43	44	50	55	60
手段(具体的な事務事業のやり方、手順)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
24年度実績 管路点検及びマンホール調査		マンホールポンプ点検回数	回	192	196	220	240	260
25年度計画 管路点検及びマンホール調査								
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		成果指標(対象における意図された対象の程度)						
下水道施設の機能を維持		施設の故障件数	件	4.0	5.0	0.0	0.0	0.0
		生活排水普及率	%	72.8	75.9	76.0	76.1	76.2
		水洗化率	%	95.4	95.0	94.6	94.7	94.8
(2) 投入量の推移								
事業内 財源 費	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	24,332	25,323	26,000	26,500	27,000	
	一般財源	千円						
事業費計(A)		千円	24,332	25,323	26,000	26,500	27,000	0
人件費	正規職員	千円	7,000	7,000	8,100	8,100	8,100	人
	正規外職員	千円	900	900	900	900	900	人
	人件費計(B)	千円	7,900	7,900	9,000	9,000	9,000	人
投入量(A)+(B)		千円	32,232	33,223	35,000	35,500	36,000	0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等								
この事務事業を開始したきっかけは何か?		下水道施設の供用開始に伴い機能を維持する						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		下水道汚水管路施設は、昭和58年から施工され、平成元年より供用が開始された。施設の老朽化に伴い、維持管理業務が増える傾向にあり、平成13年度よりマンホールポンプ機器類の交換補修が生じている。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		特になし						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 下水道法により、下水道の維持管理業務は市町村が行うものとなっており妥当である。
有効性評価 成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由はなんですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設の修繕や更新事業を計画的、効率的に行うことにより、長寿命化を図ることができる。
有効性評価 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 下水道施設の機能が損なわれるため、廃止・休止はできない。管の腐食、詰まり、破損などにより汚水の流出や道路の陥没の恐れがある。
効率性評価 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずに低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 下水道の整備拡大に伴い供用区域が拡張してきていることから、維持管理費、修繕及び補修等も増加しているため、事業費削減の余地はない。 集落排水事業との統合により事務量が増加したが、担当職員数は減員しているため、人件費の削減余地はない。
公平性評価 受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 受益者負担の原則は利益を受ける者から一定率の料金を徴収することであるため、維持管理費は受益者の使用料で賄われることは公平であり適正である。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価 (次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合																							
改革・改善の具体的な内容 (改革案・実行計画) 下水道施設の長寿命化計画の策定にむけた検討、準備を始める。																								
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性 (改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し (改革・改善) → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合																							
担当部長としての意見・考え方 (1次評価と同じの場合も記入) 対処療法的な維持管理業務から予防保全的な維持管理業務への転換により、下水道施設の長寿命化や予算の平準化を図る必要がある。																								
(4) 3次評価 (行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート			作成日	平成 25 年 5 月 27 日	点検日	平成		
事務事業名	農業集落排水処理施設維持管理事業			区分コード	4					
担当課G等	上下水道部	下水道課	工務・管理G	記入者氏名	萩野谷貴之					
総合計画体系	施策の大綱(政策名)		2!安全で快適な住みよいまちづくり			実施計画 対象事業				
	施策名		#!適正に生活排水を処理する							
	基本事業名		2!生活排水処理施設の維持管理							
予算科目	会計	農業集落排水整備	款	1	項	1	目	2!農業集落排水処理施設維持管理費	法令根拠	
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度			(開始年度 H6 年度 ~)	(年度 ~ 年度)	
事業概要										
[全体概要]					[業務内容]					
農業集落排水処理区域(汚水処理区域)6地区(戸崎、西木倉、門部、神崎額田、戸多北部、鴻巣)の施設の維持管理を行う。					処理施設の維持管理 管路、マンホールポンプ及び中継ポンプ場の管理 排水設備接続の宅内検査等					
1 現状把握の部(DOシート)										
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移										
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)			
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 汚水処理施設(公共枙~汚水管~処理場)			対象指標(対象の大きさを表す指標)							
			点検箇所数(処理場、中継ポンプ、コンポスト施設)	回	126	129	130	135	180	
手段(具体的な事務事業のやり方、手順) 24年度実績 汚泥の引抜、機器の修理、場内除草、水質検査、部品等の交換、排水設備(個人宅内)新設改造との検査、管路の維持管理(中継ポンプ) 25年度計画 汚泥の引抜、機器の修理、場内除草、水質検査、部品等の交換、排水設備(個人宅内)新設改造との検査、管路の維持管理(中継ポンプ)			活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
			点検回数(区域箇所)×管理日数	回	2,076	2,112	2,124	2,184	2,724	
			水質検査	回	12	12	12	12	12	
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 区域における施設の健全な運営(運転)			成果指標(対象における意図された対象の程度)							
			施設故障件数	件	8	13	0	0	0	
			生活排水普及率	%	72.8	75.9	76.0	76.1	76.2	
			水洗化率	%	95.4	95.0	94.6	94.7	94.8	
(2) 投入量の推移										
事業内 財源 費	国庫支出金	千円								
	県支支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	55,000	58,737	59,051	60,000	61,000			
	一般財源	千円	7,411	14,779	15,000	15,000	15,000			
	事業費計(A)	千円	62,411	73,516	74,051	75,000	76,000			0
人件費	正規職員	千円	7,000	7,000	8,100	8,100	8,100			人
	正規外職員	千円	900	900	900	900	900			人
	人件費計(B)	千円	7,900	7,900	9,000	9,000	9,000			0
投入量(A)+(B)		千円	70,311	81,416	83,051	84,000	85,000			0
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等										
この事務事業を開始したきっかけは何か?		農業集落排水処理施設の供用開始。								
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?		事業進捗に伴う施設の増により、維持管理業務が増える傾向にある。								
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?		特になし								

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なのですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 厚生労働省通達により、市町村が維持管理を行うことになっており妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由は何ですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 施設の長寿命化計画を検討することにより、維持管理業務の効率化を図ることができる。
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 農業集落排水事業は処理場の維持管理、修繕等も行っているため、公共下水道とは管理内容が異なり廃止休止はもちろん、統廃合の余地はない。
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費、人件費を削減した場合、施設の修繕、運転等の維持管理が困難になる。
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 維持管理費は、利用者の使用料で賄われており、受益者負担の原則からも(料金は水道使用量を基に徴収しているので)公平である。

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 農業集落排水処理施設の長寿命化計画の策定にむけた検討、準備を進める。																								
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合																							
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入) 老朽施設の長寿命化やコスト縮減を図るため、効率的な修繕計画の策定が必要と考える。																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成 24 年度	事務事業評価シート				作成日	平成 25 年 5 月 24 日	点検日	平成
事務事業名	会計事務(公金出納)				区分コード	11			
担当課G等	会計課	会計課	出納G		記入者氏名	増子 之江			
総合計画体系	施策の大綱(政策名)				6 行財政運営の効率化による自立したまちづくり				
	施策名				2 健全な財政運営を行う				
	基本事業名				2 財政運営の効率化				
予算科目	会計	一般	款	項	目	事業名	法令根拠	地方自治法	
			2	1	4	会計事務費			
事業期間	単年度のみ		単年度繰返		期間限定複数年度		(開始年度 不明 年度 ~) (年度 ~ 年度)		
事業概要									
[全体概要] 適正な会計事務の執行 公金の管理と運営					[業務内容] 各課の収入、支出に伴う伝票を審査・処理 現金・財産の記録・管理 共通物品の注文集計及び発注				
1 現状把握の部(DOシート)									
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移									
		単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (計画)	27年度 (計画)		
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 公金全体			対象指標(対象の大きさを表す指標)						
			収入・支出件数	件	438,271	606,931	607,077	607,077	607,077
手段(具体的な事務事業のやり方、手順) 24年度実績 各課の収入と支払いに伴う伝票の審査及び決算事務、各課の共通物品の注文集計並びに発注業務 25年度計画 各課の収入と支払いに伴う伝票の審査及び決算事務、各課の共通物品の注文集計並びに発注業務			活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
			収入件数	件	476,898	574,760	573,845	573,845	573,845
			支出件数	件	69,731	32,171	33,232	33,232	33,232
			審査件数	件	546,629	606,931	607,077	607,077	607,077
意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか) 正確で迅速かつ効率的に収入及び支出を行うことにより公金の適正な管理がなされ、市民の市政に対する信頼と安心感が得られる。			成果指標(対象における意図された対象の程度)						
			一人当たりの審査件数	件/人	78,090	101,155	101,179	101,179	101,179
			一人当たりの出納処理件数	件/人	78,090	101,155	101,179	101,179	101,179
			行政サービスに対する市民満足度	%	49.62	50.15	55.00	60.00	65.00
(2) 投入量の推移									
事業内訳	財源内訳	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	26年度(計画)	27年度(計画)	全体計画	
	国庫支出金	千円							
	県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
一般財源	千円	2,083	2,081	2,251	2,551	2,551			
事業費計(A)	千円	2,083	2,081	2,251	2,551	2,551		0	
人件費	千円	39,300	33,000	33,000	33,000	33,000			
正規職員	人	6	6	6	6	6			
正規外職員	人	723	0	0	0	0			
人件費計(B)	千円	40,023	33,000	33,000	33,000	33,000		0	
投入量(A)+(B)	千円	42,106	35,081	35,251	35,551	35,551		0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
この事務事業を開始したきっかけは何か?	地方財務会計制度による。								
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか?	不況のため収入の伸びが期待できないことにより、ますますのきめ細かい公金管理をする必要がある。地方自治法の改正(平成19年4月)により、特別職の収入役が廃止となり、代わって一般職の会計管理者が置かれ、人件費の削減が可能となった。								
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?	特になし								

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映されたのですか？	(前年度最終評価) : (取り組み内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> (人件費 <input type="text"/> 千円) <input type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	公共関与の妥当性 この事業を市が行うことは妥当なですか？見直す必要はありませんか？妥当だとするとその理由は何ですか？	<input type="checkbox"/> 妥当である 公金出納事務は地方自治法に基づき適正な管理を行うため。 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック)
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はありますか？向上の余地があるとした理由は何ですか？何が原因で成果向上が期待できないのですか？	<input type="checkbox"/> 余地がない 公金の収入・支出は適正に行われている。また、処理件数(内容)も増えている。 <input type="checkbox"/> 余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック)
	類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 類似事業はありますか？類似事業との統廃合余地はありませんか？事務事業の現状及び成果から考えて、廃止又は休止することができますか？	<input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない 廃止・休止の可能性がない ・類似事務業務がないため統廃合の余地はない。 ・各課ごとに収入と支出を処理することになり、事務が煩雑になるため正確さと迅速性に影響がでるため廃止・休止はできない。 <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック)
効率性 評価	事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できませんか？成果を下げずに所要時間を削減できませんか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できませんか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない 人件費の削減余地がない ・主な事業費は口座振替手数料であるため削減はできない。 ・人件費は地方自治法により私人による公金管理には制限があるため、完全なアウトソーシングはできない。 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック)
公平性 評価	受益者負担の適正余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっていますか？	<input type="checkbox"/> 適正である 受益者負担を求める事業ではない 市の会計の受益者は市民全体であり、一般財源からの負担は公平である。 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある (評価の部にて「現状維持」以外にチェック)

3 計画の部 (PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) 担当課長、グループ長、担当者が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 市民に信頼される会計事務が求められる中、正確な収入と支出の伝票審査及び支払事務の確実な執行に努めることが重要である。また、各課の共通物品の注文集計並びに発注業務を会計課が行うことにより、効率的な運用が図られている。今後も市の公金を安全、確実に保管運用し、現金出納の確実な執行に努め、適正な会計事務を推進する。																								
改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) 担当部長が記載																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																							
担当部長としての意見・考え方(1次評価と同じの場合も記入)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								